

GV-RX195X512VB-RH

Radeon X1950 XTX グラフィックスアクセラレータ

ユーザズマニュアル

改版 101



* 製品の WEEE マークは、この製品を他の家庭ゴミと共に廃棄することを禁じ、廃棄電気電子機器のリサイクルのための指定収集場所に引き渡す必要を示しています！！

* WEEE マークは EU 加盟国のみ適用されます。

著作権

© 2006 年 GIGABYTE TECHNOLOGY CO., LTD

GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD. ("GBT")が有します。GBT の書面による承諾なしに、本書の一部または全部を、転載または複製することを禁じます。

商標

本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

注

VGA カードの保証が無効となりますので、VGA カードのラベルを剥がさないでください

情報技術の急速な進歩により、本書を出版後、仕様に変更される場合がありますので、ご了承ください。

記載内容の誤り・不適切な表現、誤字脱字など、その結果生じたいかなる損害等に関しても、本書の作者は一切の責任を負いかねます。

Macrovision 社製品に関するお知らせ：

本製品には米国特許および他の知的財産権により保護される著作権保護技術が組み込まれています。著作権保護技術の使用は、Macrovision による認可が必要であり、Macrovision による許可がない限り、家庭および制限された鑑賞用途のみを意図するものです。リバースエンジニアリングおよび逆アセンブルは禁止されています。

1. ハードウェアの取り付け



CAUTION

拡張カードには、非常に繊細な集積回路(IC)チップが搭載されています。静電気から IC チップを保護するため、コンピュータを使用する際は必ず以下の注意事項に従ってください。

1. コンピュータの電源を切り、電源を抜いてください。
2. コンピュータのパーツを取扱う前に、接地リストストラップを着用してください。リストストラップがない場合は、接地物または金属物に両手で触れてください。
3. システムからパーツを外す際は、必ず、パーツを帯電防止パッド、またはパーツ付属のバッグの上に置いてください。

カードには敏感な電子部品が搭載されており、静電気により損傷しやすいため、カードはインストールまで元のパッケージに保存しておいてください。

パッケージ開封及びインストールはアースされた静電防止マットで行ってください。操作人員は静電防止マットと同じ点でアースされた静電防止リストバンド。カードの箱に明らかな損傷がないか検査してください。出荷と搬送中にカードが損傷する場合があります。処置の前にカードに出荷及び搬送中の損傷がないことを確認してください。

- カードに損傷が見られた場合、システムの電源を入れないでください。
- グラフィックスカードの正常な動作を確保するため、公式な Gigabyte BIOS のみ使用してください。非公式な Gigabyte BIOS を使用するとグラフィックスカードに問題が生ずることがあります。

1.2. ハードウェアの取り付け

グラフィックスカードのインストール。

コンピュータの準備が整ったら、グラフィックスアクセラレータカードをインストールできます。

既存のグラフィックスカードの取り外し:

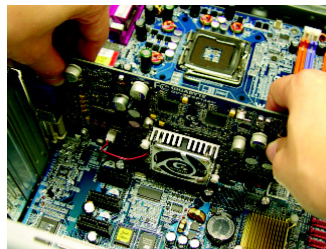
1. コンピュータとモニタの電源を切り、コンピュータの背後からディスプレイケーブルを取り外します。



2. コンピュータカバーを取り外します。必要であれば、カバーを取り外すために、コンピュータのマニュアルを参照してください。



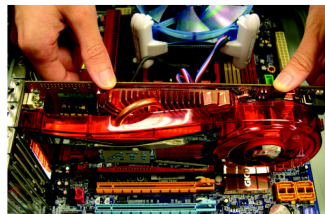
3. コンピュータから既存のグラフィックスカードを取り外します。
コンピュータにオンボードのグラフィックス機能がある場合、マザーボードでこれを無効にする必要がある場合があります。詳細な情報については、コンピュータのドキュメントを参照ください。



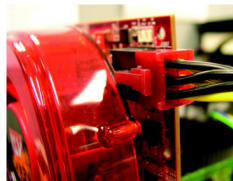
日本語

新しいグラフィックスカードのインストール:

1. PCI エクスプレス x16 スロットの位置を確認してください。必要に応じて、スロットから金属カバーを取り外してください。その後、PCI エクスプレス x16 スロットにグラフィックスカードを合わせ、カードがしっかりとはめ込まれるまで押してください。

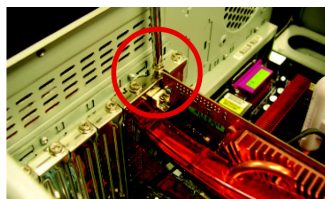


- * グラフィックスカードの金色エッジコネクタがしっかりと挿入されたことを確認してください。

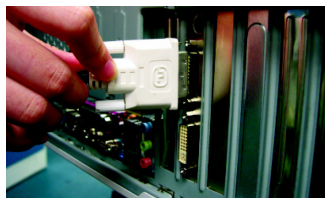


インストール後、パワーケーブルをグラフィックスカードに接続してください。そうしないと、システムはブートしません。

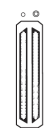
2. ねじを再度取り付けて、カードを固定し、コンピュータカバーを元に戻します。



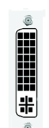
3. ディスプレイケーブルをグラフィックスカードに接続し、コンピュータとモニタの電源を入れます。フラットパネルをグラフィックスカードに直接接続するには、DVI-I コネクタを使用してください。VGA モニタを DVI-I コネクタに接続するには、DVI-I-D-Sub アダプタを DVI-I コネクタに接続してから、モニターケーブルをアダプタに接続します。



フラットパネルを接続します



VHDCI



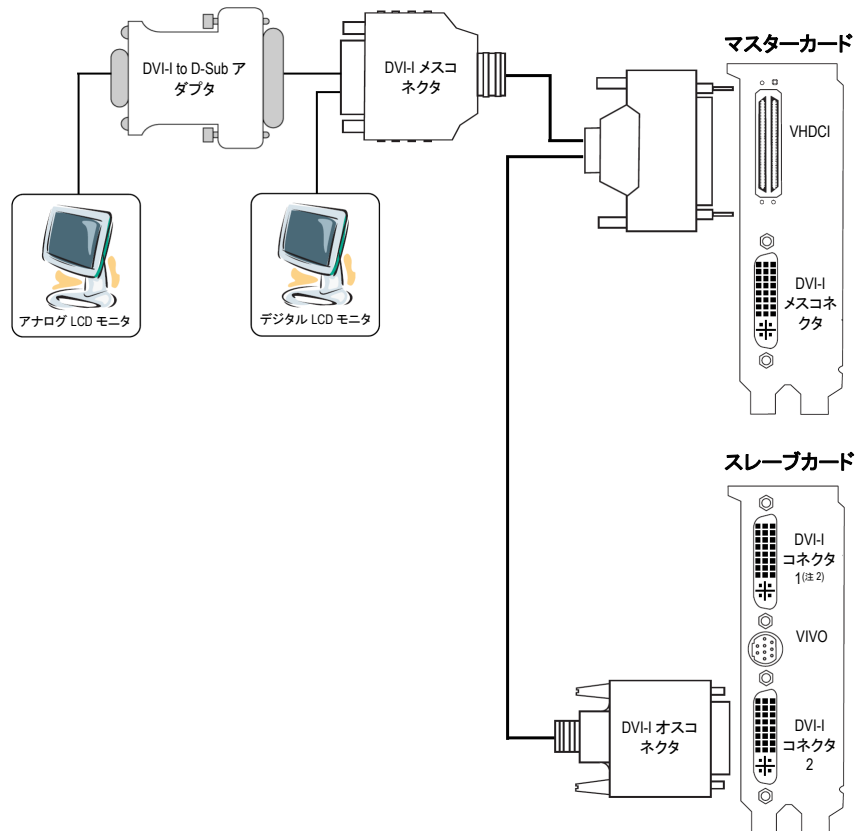
フラットパネルディスプレイ VIVO 用の 9 ピン端子



DVI-I-D-sub アダプタを経由して VGA モニタを接続します

これでグラフィックスカードのドライバをインストールする準備が整いました。詳細な手順については、次の章をご覧ください。

ATI CrossFire™ 技術を使用する方法(注1):



ステップ 1:

二つ同じチップの CrossFire グラフィックカードを CrossFire 技術をサポートするマザーボードにインストール後に、ユーザは簡単にグラフィックカードドライバを通じて CrossFire 技術を使用できます。

ステップ 2:

OS にグラフィックカードドライバをインストール後、ATI CATALYST Control Center (19 ページ参照してください)にアクセスします。ATI CATALYST Control Center から CrossFire メニューに入り、**Enable CrossFire** チェックボックス(35 ページを参照してください)を選択し、設定を完了します。

(注 1) CrossFire™ モードは、Windows® XP オペレーティングシステムだけサポートします。Windows® 2000 では CrossFire™を使用しないでください。

(注 2) CrossFire™ 技術を使用する時、マスターカードの DVI-I コネクタとスレーブカードの DVI-I コネクタ 1 は使用不能になります。

日本語

2. ソフトウェアのインストール

このマニュアルでは、お使いの CD-ROM ドライブ文字がドライブ D:と仮定します

Windows® 2000 / Windows® XP ドライバのインストールは非常に簡単です。ドライバ CD を CD-ROM ドライブに挿入すると、AUTORUN ウィンドウが現れます(表示されない場合は "D:\setup.exe" を実行します)。案内にしたがってグラフィックスカードのドライバをセットアップします。(お使いのグラフィックスアクセラレータのドライバのインストールには、2.1.3 "ドライバのインストール" に従ってください。)

2.1 Windows® XP ドライバ及びユーティリティのインストール

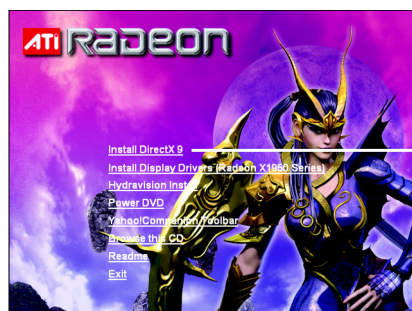
2.1.1. オペレーティングシステム要件

- システムにグラフィックスカードのドライバをロードする時に、システムに DirectX 9.0c 以上がインストールされていることを確認してください。
- SIS または VIA チップセット構成のマザーボードにグラフィックスカードのドライバをインストールする場合、マザーボードに適したドライバプログラムをインストールしてください。またはお近くのマザーボード販売店にマザーボードドライバについてお問い合わせください。

2.1.2. DirectX のインストール

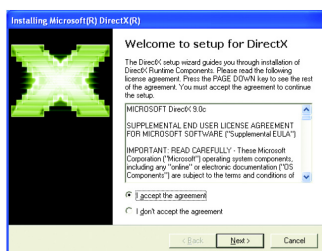
より良い 3D 性能を実現するために、Microsoft DirectX をインストールして、Windows® 2000 または Windows® XP 対応の 3D ハードウェアアクセラレーションを有効にします。

- 注: Windows® 2000 または Windows® XP のソフトウェア MPEG 対応のために、DirectX を最初にインストールする必要があります。Windows XP のサービスパック 2 以上を使用しているユーザーは、DirectX を別にインストールする必要はありません。

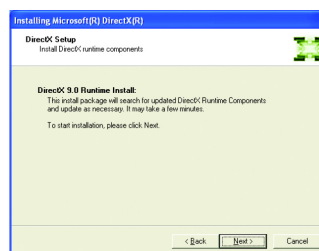


ステップ 1: Autorun ウィンドウが表示されたら、Install DirectX 9 項目をクリックします。

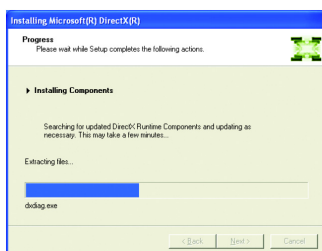
Install DirectX 9 をクリックしてください。



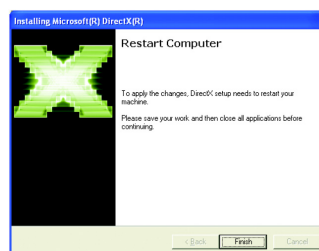
ステップ 2: I accept the agreement を選択して、Next ボタンをクリックします。



ステップ 3: Next ボタンをクリックします。



コンポーネントをインストールします。



ステップ 4: Finish をクリックし、コンピュータを再起動してください。DirectX 9 のインストールが完了しました。

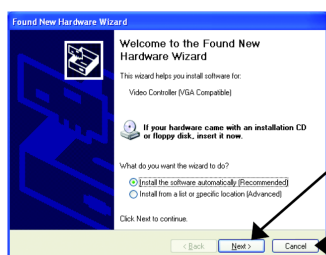
日本語

2.1.3. ドライバのインストール

A. 新しいハードウェアの検出

グラフィックスカードを最初にシステムに挿入した後、Windows はシステムの新しいハードウェアを自動的に検出し、“新しいハードウェアが見つかりました”メッセージをポップアップします。以下は、ステップ・バイ・ステップのインストールガイドです。

ステップ 1: 新しいハードウェアの検出ウィザード: ビデオコントローラ(VGA 互換)

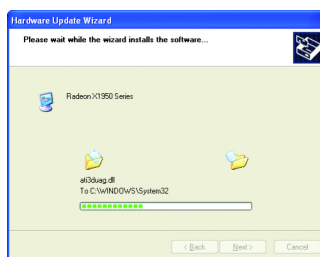


Next ボタンをクリックしてドライバをインストールします。(グラフィックスアクセラレータ付属のドライバCDがありますので、ここで挿入してください。)

または Cancel ボタンをクリックして、AUTORUN ウィンドウからインストールします。

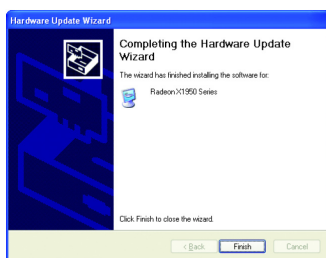
ステップ 2: 新しいハードウェアの検出ウィザード: 検索及びインストール

ウィザードはドライバを検索して、自動的にインストールします。



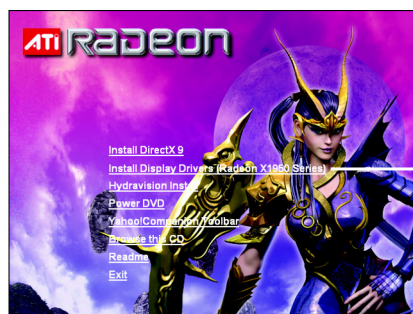
ステップ 3: 新しいハードウェアの検出ウィザード: 完了

Finish ボタンをクリックして、インストールを終了します。



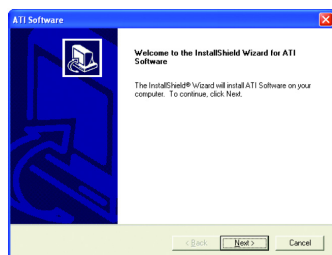
B. ドライバのインストール(Autorun ウィンドウ)

ドライバ CD ディスクを CD-ROM に挿入すると、AUTORUN ウィンドウが表示されます。表示されない場合、「D:\setup.exe」を実行してください。

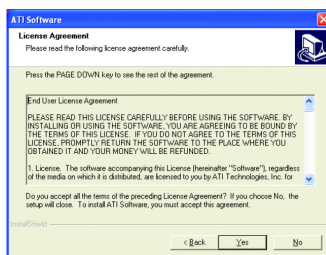


ステップ 1: AUTORUN 画面が現れたら、**Install Display Drivers (Radeon X1950 シリーズ)**をクリックしてください。

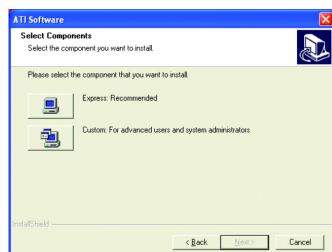
Install Display Drivers (Radeon X1950 シリーズ)項目をクリックしてください。



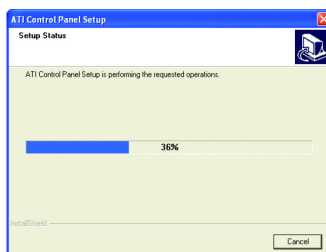
ステップ 2: **Next** ボタンをクリックします。



ステップ 3: **Yes** ボタンをクリックします。



ステップ 4: **Express** または **Custom** アイコンをクリックしてください。



Windows はコンポーネントをインストールしています。



ステップ 5: **Finish** をクリックしてコンピュータを再起動します。
これでドライバのインストールは完了です。



3. トラブルシューティングヒント

何らかの問題が生じた場合に、以下のトラブルシューティングのヒントが役に立つことがあります。より詳細なトラブルシューティング情報については、販売店または GBT にお問い合わせください。

- PCI エクスプレス x16 スロットにカードが正しく挿入されていることをチェックしてください。
- ディスプレイケーブルがカードのディスプレイコネクタにしっかり接続されたことを確認してください。
- モニタとコンピュータをコンセントに差込み、電源が供給されていることを確認してください。
- 必要に応じて、マザーボード内蔵のグラフィックス機能を無効にしてください。詳細な情報は、コンピュータのマニュアルまたはメーカーにお問い合わせください。
(注: メーカーによっては、内蔵のグラフィックスを無効にしたり、セカンダリディスプレイにすることを禁じている場合があります。)
- グラフィックスドライバのインストール時に、適切なディスプレイ装置及びグラフィックスカードを選択したことを確認してください。
- コンピュータを再起動します。システムの再起動後に、キーボードの F8 キーを押します。Windows 拡張オプション メニューが表示されたら、セーフ モードを選択し、Enter を押します。セーフモードに入った後、デバイス マネージャでグラフィックスカードのドライバが正しいことを確認してください。
- 詳細については、Windows®ヘルプのトラブルシューティングガイドを参照するか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。



画面のフォーカス度、鮮明度、シャープさを向上させるため、必要に応じてモニタ調整パネルでモニタ設定を調節してください。(モニタマニュアルを参照してください。)

日本語
